



第30号 (昭和37年5月)

目 次

関係法令 1
 人事異動 1
 総合情報 2
 本年度科学研究費交付金 2
 在外研究員の決定 3
 (参考)在外研究員の募集に関する通知 3
 科学教育研究室の開室 3
 薬学部校舎と自然科学教棟の建設工事 3
 文理学部校舎竣工祝賀会 3
 第8回大学祭 4
 精神文化高揚国際富山大会出席の海外議員
 の来学 4
 英国文化協会のミッチェル氏来学講演 4
 学位取得者 4
 日 誌 5
 職員住所 6

関 係 法 令

法 律

第108号 財政法の一部を改正する法律 37. 5. 8官報

第114号 恩給法等の一部を改正する法律 37. 5.10 //

政 令

第202号 学校保健法施行令の一部を改正する政令 37. 5.11 //

第203号 日本育英会法施行令の一部を改正する政令 37. 5.11 //

官庁報告

厚生省 第22回薬剤師国家試験合格者 37. 5.19 //

人 事 異 動

現 官 職	氏 名	異 動 内 容	発令年月日	発 令 庁
文 部 事 務 官 (附 属 図 書 館)	齊 藤 隆	閲覧係長に昇任させる。	37. 5. 1	富 山 大 学
(//)	本 田 善 彦	薬学部分館事務主任に配置換する。	//	//
文 部 事 務 官 (庶 務 課)	島 正	附属中学校に配置換する。	//	//
事 務 員 (薬 学 部)	宮 越 一 男	庶務課に配置換する。	//	//
(教 育 学 部)	清 水 寛	//	//	//
(//)	長 沢 義 男	薬学部に配置換する。	//	//
文 部 事 務 官 (附 属 図 書 館)	松 下 甚 清	経済学部に配置換する。	//	//
文 部 事 務 官 (会 計 課)	島 田 幾 久 栄	経済学部に配置換する。	//	//
事 務 員 (経 済 学 部)	堀 和 子	会計課に配置換する。	//	//
文 部 事 務 官 (文 理 学 部)	小 林 太 市	厚生課に配置換する。	//	//

用 務 員 (経 済 学 部)	館 盛 貞 信	事務員教育学部に配置換する。	37. 5. 1	富山大学
教 務 員 (文 理 学 部)	大 野 教 山	〃 文理学部に配置換する。	〃	〃
	中 村 広	技能員(工学部)に採用する。	〃	〃
	広 田 浩	事務員(教育学部)に採用する。	〃	〃
	吉 田 恵 吉	事務員(附属図書館)に採用する。	〃	〃
	飯 田 憲 郷	〃 (経営短期大学部)に採用する。	〃	富山大学経営短期大学部
	今 江 秀 男	〃 (学生課)に採用する。	〃	富山大学
	杉 林 正 次 郎	用務員(経済学部)に採用する。	〃	〃
教 務 職 員 (文 理 学 部)	立 野 昌 郷	助手に昇任させる。	〃	〃
用 務 員 (文 理 学 部)	奥 村 成 盛	技能員(施設課)に配置換する。	37. 5. 16	〃
技 能 員 (教 育 学 部)	福 井 作 次 郎	施設課に配置換する。	〃	〃
講 師 (〃)	加 藤 寿 美 子	助教授に昇任させる。	〃	文 部 省
	植 吉 和 政	用務員(教育学部)に採用する。	37. 5. 18	富山大学
	瀬 川 慶 之	技能員(文理学部)に採用する。	〃	〃
用 務 員 (教 育 学 部)	宮 崎 右 人	附属中学校に配置換する。	〃	〃
	高 野 直 美	事務員(会計課)に採用する。	37. 5. 21	〃

総 合 情 報

本年度科学研究費交付金

本年度分については、かねて申請していたが、5月当初

その割当の内定通知が、次のとおりあつた。

各個研究

申請者64人71件に対し次の13人13件が交付内定した。

研 究 課 題	研 究 担 当 者		交 研 究 付 費 千
	氏 名	氏 名	
ヘルダー詩学研究	上 野 英 雄	文 理, 助 手	50
決定理論の応用に関する研究 一経済決定模型の構成一	妙 見 孟	経 済, 助 手	50
放電により励起された分子のマイクロ波スペクトル	児 島 毅	文 理, 助 教 授	100
各種有機反応の触媒としての五塩化タンタルについての研究	浅 岡 忠 知	工 学, 教 授	170
魚卵の受精付活に伴うイオンの透過性に関する研究	植 木 忠 夫	文 理, 教 授	80
円孔の付近に集中力を受ける帯板の応力	宮 尾 嘉 寿	工 学, 助 教 授	80
制御系のサーボ, パワーについて	四 谷 平 治	工 学, 教 授	200
反射炉製鉄に関する研究	森 棟 隆 弘	〃 〃	200
鑄造組織と再結晶粒度との関連性	室 町 繁 雄	〃 〃	200
ジルコニウム合金に関する基礎的研究	山 田 正 夫	〃, 助 教 授	80
硫化鉛鉛の湿式製錬	瀬 川 安 一 郎	〃, 講 師	80
含窒素 Bicyclo (3.3.1) Nonane 類の薬学的研究	三 橋 監 物	薬 学, 教 授	200
漢方薬の史的文献的研究	梅 原 隆 章	文 理, 助 教 授	50

機 関 研 究

次の3件が交付決定となつた。

A, B

- 文理学部 教授 竹内 豊三郎
研究課題 “トリチウムによる化学反応の研究”
交付決定額 130万円

- 薬学部 教授 北川 晴雄
研究課題 “医薬品の防カビ研究”
交付決定額 580万円

C

- 薬学部 教授 桜井 謙之介
研究課題 “牛黄の生薬化学的および薬理学的研究”
交付決定額 50万円

在外研究員の決定

本年3月、文部省が募集した在外研究員には、A項6、B項2、C項1の応募があつたが、5月中ばに次の2名が決定した。

(A項)

- 薬学部 教授 北川 晴雄
研究課題 “薬物学特に中枢神経の化学的研究”
研究場所 アメリカ合衆国、ワシントン
ナショナル、インステテユート、オブ、ヘルス
在外期間 昭和38年3月から1カ年の予定

(C項)

- 薬学部 助教授 大浦 彦吉
研究課題 “複合脂質の生化学的研究”
研究場所 ビバーク大学医学部
在外期間 昭和37年10月から1カ年の予定

(参考)

在外研究員の募集に関する通知 (抄) (昭 37. 3)

1. 研究員の種別

- A. 期間は1年で、同一場所に長期間滞在し、研究に専念できるもの。
B. 期間は3ヵ月で、この期間内に効果的に調査研究のできるもの。
C. Aと同じ趣旨で、外国の政府、公的研究機関、学術振興を目的とする財団その他の機関によつて滞在費を保証され、渡航費のみ必要とするもの。

2. 応募資格

- (1) 文部教官
(2) Aは明治44年4月1日以後出生の者、Bは明治39年4月1日以後出生の者。(Cには年齢上の制限はない)

3. 推薦手続

- (1) 別紙様式(省畧)によること。なお、C、は滞在費保証に関する文書の写真による写しとその訳文を添付

すること。

(2) A、Bを通じて順位を付けること。C、は順位を必要としない。

(3) 申込みは昭和37年4月25日まで。ただし、C、については、特別の事情のある場合は期限後も受け付ける。

4. 留意事項

補候者の選定にあつては、貴学の教育研究に支障を生ずることがないようにじゅうぶん考慮すること。

科学教育研究室の開室

昭和37年度富山大学科学教育研究室入室式は5月15日午後2時から来賓の県教育委員会木本教育次長らを迎え黒田講堂貴賓室において行なわれた。

当研究室は理科教育を担当する小中学校ならびに高等学校教諭の指導力強化を目標として文部省の委嘱によつて開設するもので、本年度入室した研究生は次のとおりである。

学部	学科目	実 験 非実 験 の 別	勤 務 学 校	職 氏 名
文理学部	生物学	実 験	西砺波郡戸出町戸出 戸出女子高等学校	教諭 亀谷 敬子
	数 学	実 験	高岡市中川 高岡工芸高等学校	〃 宮本 敏男
教育学部	自 然 地理学	実 験	下新川郡朝日町山崎 山崎小学校	〃 長崎 光雄
	地質学	実 験	高岡市中川 高陵中学校	〃 邑本 順亮
	家政学	実 験	富山市太郎丸 富山産業高等学校	〃 溝上 富士根

薬学部校舎と自然科学教棟の建設工事

集中計画による文理学部校舎の建設に引きつづき、本年は、薬学部校舎の前期建設工事と、自然科学教室の第5期増築工事が、何れも7月8日から着工された。工事の概容は次のとおり。

薬学部校舎(工事計画の50%)

鉄筋コンクリート4階建

延坪 3723 平方メートル(1189坪) 46室

工事費 7.650万円

自然科学教室(工事計画の55%)

鉄筋コンクリート4階建

延坪 1379平方メートル(417坪) 27室

工事費 2548万円

工事請負者は何れも大成建設株式会社である。

文理学部校舎竣工祝賀会

5月31日の大学祭の日を卜して、文理学部校舎の竣工祝賀会が、正午から黒田講堂で開かれた。学長の挨拶について、高瀬文理学部長から集中移転の経過について詳細報告があつた。このあと工事請負者、大成建設、竹下電機、北陸設備工業の三社の代表に感謝状の授与が行なわれて小宴に移り1時過ぎ閉会した。当日の出席者は館、桜井の両参議院議員、森戸広島、石橋金沢の両大学長、梅原前学長、知事代理、県教育長、のほか山田、田辺、横山の民間知名の士などに本学側代表など約100名に及んだ。

第 8 回 大 学 祭

第8回大学祭は、5月30日の前夜祭で始まり6月3日まで行なわれた。この日は、好天に恵まれ幸先のよいスタートとなつた。例により各学部寮生諸君が奇想天外の趣向をこらした仮装行列が市中を行進、随所に爆笑の渦を巻き起した。行進から帰つたあと、各隊の仮装振り仮装の意味を表現化した寸劇のコンクールが、グラウンドの一隅にしつものもとらえられたステージで、学長や学部長等審査行なわれた。このほか、ことし初めてのバーベキューがグラウンドで催され、大学祭のたのしさを盛り上げた。

5月31日は、特に森戸広島大学長を招いて「共同体としての大学」なる創立特別記念講演が市公会堂で市民にも公開のもとに行なわれた。折から、大学管理制度が問題となつており、中央教育審議会の特別委員会委員長である同学長の講演は、時宜に適し、且つ、頗る示唆に富むものであつた。

同日以降展開されたプログラムは次のとおりである。

5月30日

音楽会 午後3.00～5.30 市公会堂

映画会 6.30～9.00 //

「裸の島」 「勝利と独立への道」

6月1日

講演会 午後 1.00 黒田講堂

講師 山田宗睦(東大出版会企画部長)

// 白井健三郎(学習院大学助教授)

弁論大会 午後3.00～5.00 黒田講堂

映画会 ①「戦艦ポチヨムキン」 ②「燃え上がるアルジェリア」 ③「安保への怒り」

パネルディスカッション

午後3.00～5.00 黒田講堂

演劇会 午後5.00～8.00 電気ビルホール

「メドウサの首」 劇団ふだい

「戸口の外で」 べるくの会

6月2日

文理学部発表会、経済学部学術発表会、教育シンポジウムなど11の催しが各会場で行なわれた。

6月3日

経済学部学術発表会他5つの催しが行なわれた。この他6月1日から3日まで、市商工奨励館で、学生諸君の絵画、彫刻、書道、写真の作品の展示会が行なわれ、また別に工学部においては業者の協力による学生の自動車旅行が行なわれた。

精神文化国際会議富山大会

出席の海外議員の来学

この大会は、5月20日21日の両日催され、20日午前中の市公会堂における歓迎大会のあと、翌21日にわたつて各班に分れ、富山、高岡、魚津、滑川、石動の各地を視察見学した。このうち、富山班の別動班約50名が、21日午前10時バス2台で来学した。まず、一行を黒田講堂に設けた接待場に案内、学生の有志諸君も加つてジュースなど供し、歓迎のパーティを開いた。この席上、学長から歓迎の挨拶を須沼助教授の通訳で行なつた。このあと、一行はヘルン文庫を見学した。

英国文化協会のミツチエル氏来学講演

英国文化協会のミツチエル氏は、同協会の代表者としてまた英国大使館付の補助官として、わが国の諸大学視察の目的をもつて巡回の途中、5月10日来学した。そして、午前中は英文学関係の教官と将来英国訪門を望んでいる教官等と懇談し、午後は、黒田講堂で学生を対象に「話す英語書く英語」なる演題で講演をした。終わつて、文理学部32番教室で学生との質疑応答を行なつた。

学 位 取 得 者

- 取得者 工学部長 野路 末吉
取得学位 工学博士
学位論文 溶剤回“収用造粒活性炭の製造法に関する研究”
提出先 東京工業大学 主査 佐藤一雄教授
取得年月日 昭和37年3月31日
学位記番号 第693号
- 取得者 工学部 助教授 井村 定久
取得学位 工学博士
学位論文 “浸透性を伴う熱伝導に関する研究”
提出先 東京工業大学 主査 川下研介教授
取得年月日 昭和37年3月31日

学位記番号 第746号

○取得者 工学部 助教授 三上 房男

取得学位 工学博士

学位論文 “吹き出しましては吸い込みのある平板に沿
うれに関する研究”

提出先 東京工業大学 主査 板谷松樹教授

日誌

本 部

- 5月 1日 定期事務系統人事異動
 12日 北陸三大学野球大会 (福井大学)
 15日 学部長懇談会
 18日 評議会
 21日 精神文化高揚国際富山県大会会員一行約50名来
 学, ヘルン文庫見学
 23日 腸チブス予防注射実施
 28日 評議会
 30日 大学祭前夜祭
 31日 文理学部移転祝賀会
 森戸広島大学学長, 梅原前学長, 列席
 午後森戸学長大学祭講演

文 理 学 部

- 5月 10日 全国文理学部長会議 (佐賀大学)
 16日 教授会
 人事教授会
 22日 立山調査団収録映画試写会 (2番教室)
 立山研究室懇談会
 23日 新設理科教棟設備等懇談会
 30日 川村多実二氏 (京都市立美術短大学長) の「鳥
 類の生活」講演会 (3番教室)
 31日 文理学部校舎竣工式

教 育 学 部

- 5月 2日 選考委員会, 附属学校研究協議会準備会(附中)
 4日 消費組合役員会
 9.10日 文理学部を併設する教育学部の学部長会議 (山
 形大学)
 11.12日 日本教育大学協会北陸地区第二部会家庭科研究
 協議会 (金沢大学)
 14日 選考委員会
 15日 教育実習打合せ
 16日 教授会
 17日 教務委員会

18.19日 日本教育大学協会北陸地区評議会 (新大, 高田
分校)23日 昭和37年度日本教育大学協会代議員総会 (東京
学芸大, 小金井分校)

〃 定期健康診断, 学部補導委員会

30日 学部職業補導委員会

経 済 学 部

- 5月 1日 職業補導委員会
 9日 財務委員会
 10日 教授会 (第3回)
 12日 職員レクリエーション (国泰寺)
 15日 職業補導委員会
 22日 〃
 24日 教授会 (第4回)
 25日 定期健康診断 (直接撮影)
 29日 職業補導委員会
 31日 経済学部長, 事務長会議 (福島大学)

薬 学 部

- 5月 2日 定期健康診断 (間接撮影)
 9日 教授会
 11日 定期健康診断 (直接撮影)
 16日 教授会, 定期健康診断 (一般検診及び腸, パラ
 チブス予防接種)
 20日 学生主催運動会
 日本薬学会北陸支部第14回例会 (金沢大学)
 23日 教授会
 24日 職業補導委員会
 28日 国, 公立薬科大学 (部, 科) 長会議 (伊東市)
 新制6大学薬学部長会議 〃
 職業補導委員会, 教授会
 29.30日 全国薬科大学 (部, 科) 長会議 (伊東市)
 31日 本学創立記念日

工 学 部

- 5月 11日 レクリエーション運営委員会
 16日 腸, パラチブス予防接種及びレントゲン間接撮
 影 教授懇談会
 19日 人事教授会
 〃 アメリカ, ミードジョンソン社研究部長マサフ
 オード氏, 名古屋大学平田教授来部
 21日 高岡消防署消火施設査察
 29日 学生定期健康診断

附属図書館

5月 8日 図書館商議会

経営短期大学部

5月 2日 専任教官会議

12日 親睦会レクリエーション (第4回) 国泰寺

25日 専任教官会議

職 員 住 所

新 任 者

事務局

事務員 高野 直美

学生部

事務員 今江 秀男

文理学部

技能員 瀬川 慶之

教育学部

事務員 広田 浩

用務員 植吉 和政

経済学部

用務員 杉林 正次郎

工学部

技能員 中村 宏

附属図書館

事務員 吉田 恵吉

短期大学部

事務員 飯田 憲郎

変 更

事務局

事務員 清水 寛

学生部

事務官 刑部 幸雄

経済学部

事務員 奥田 雅子

工学部

助手 嶋尾 一郎

附属図書館

事務員 佐藤 透

短期大学部

講師 泰地 靖弘

発行 昭和37年11月1日

印刷 昭和印刷株式会社